

運動会

雨天のため1日延期となりましたが、10月6日(月)の朝、爽やかな秋の日差しの下で、今年の運動会が幕を開けました。黄色組「星龍」、赤組「鳳凰」、青組「海王我」の3色が、優勝を目指して突き進みます。

1～3年生の可愛らしく元気いっぱいのダンスや、4年生の秀逸な踊りがグラウンドを沸かせます。中でも、色とりどりのリボン鮮やかに駆使して表現した5年生のダンスは、さすが高学年と思わせるものでした。



一方、得点競技となると、戦っている子ども達のみならず、応援席も俄然気合いが高まります。仲間の必死の応援を背に、どの学年も熱戦を繰り広げました。特に、6年生の団体競技である男子の騎馬戦、女子の棒倒しは、見ている者が手に汗握る迫力満点の大熱戦でした。



最後に表現運動を発表するのは、最高学年の6年生の組体操です。本番に向けて、それこそ血の滲むような練習を重ねてきました。

その組体操のフィナーレを飾るのが、最大の難関となる5段人塔です。幾度も幾度も練習したのですが、この日の本番、どうしても人塔が組み上がりません。

会場は、驚くような静けさに包まれました。どよめきも「頑張れ」という応援の声もありません。必死に組み立てようとしている当事者のみならず、周りで技を準備している6年生も、応援席の下級生も、見にいらしたお客様も、誰もが絶対に組み上がると信じて、声を発することなく見守ったのです。

何度もやり直して、ついに、ついに5段人塔が完成しました！その瞬間に贈られた拍手は、感動の渦となって6年生を包み込みました。これまでの練習を信じ、仲間を信じ、自分を信じてやり遂げた6年生の頬を、熱い涙がこぼれました。



今年の運動会は、青組「海王我」の優勝で幕を閉じました。全力を出し切って全ての種目に挑み、最高の感動をプレゼントしてくれた子ども達。来年は、どんな感動が待っているのか、今から楽しみになってきます。